

マレーシアにおけるコールドチェーン普及啓発セミナー 開会挨拶

皆様、こんにちは。国土交通省公共交通・物流政策審議官の寺田です。

本日は、「マレーシアにおけるコールドチェーン普及啓発セミナー」に、国内外より大変多くの方にご参加を賜りまして、誠にありがとうございます。

はじめに、本セミナーの開催にあたりまして、ご尽力を賜りました、Rosbi 局長はじめ、マレーシア運輸省の皆様、また宿利会長はじめ、一般財団法人運輸総合研究所の皆様に対しまして、心より御礼申し上げます。

また、昨年 12 月にマレー半島で発生した洪水で被災された方々に対して、心からお見舞い申し上げます。被災された方々の安全と、被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

マレーシアをはじめとした ASEAN 地域においては、着実な経済成長や食生活の多様化を背景として、冷蔵・冷凍食品に対する需要が高まっているものと認識しております。一方で、そうした需要をしっかりと支える物流の役割も極めて重要です。とりわけ温度管理を伴うコールドチェーン物流は、一度途切れてしまうと、食品の劣化や廃棄につながることから、コールドチェーン物流サービスの品質向上に対する期待が高まっています。

このような状況の下、我が国は、一昨年、コールドチェーン物流サービス規格である JSA-S1004 を策定しました。これは 2018 年の日 ASEAN 交通大臣会合で承認された「日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドライン」をベースとして、倉庫事業者やトラック事業者が冷蔵・冷凍貨物を取り扱う際に基本的に遵守すべき事項をとりまとめた規格です。また、マレーシアをはじめ ASEAN 各国におかれても、このガイドラインをベースに、コールドチェーン物流サービスに関する国家規格化に取り組まれているものと承知しています。この JSA-S1004 あるいは今後策定される ASEAN 各国における国家規格の認証を取得した物流事業者が増えることにより、ASEAN 地域において、コールドチェーン市場が健全に発展することを期待しています。

本セミナーは、コールドチェーン物流サービスについて、ASEAN 諸国の中でも先進的な取組を進めているマレーシア政府との共催の形で開催することとなりました。このセミナーが、とりわけマレーシアの物流事業者、荷主、認証機関等の関係者の皆様にとって、コールドチェーン物流サービスの重要性や規格の意義についての理解を深めるきっかけとなることを期待しています。

最後に、本セミナーの開催にあたりまして、改めてマレーシア運輸省及び一般財団法人運輸総合研究所の皆様には感謝を申し上げますと共に、本日ご参加いただいた皆様にとって有意義なセミナーとなりますことを祈念しています。ありがとうございました。